

# 2019年3月期 第1四半期(累計)【連結】決算ハイライト

(単位:百万円)

第1四半期(累計)業績	2018/3期 第1四半期		2019/3期 第1四半期		前年同四半期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	24,811	100.0%	26,686	100.0%	1,875	7.6%
営業利益	963	3.9%	1,654	6.2%	690	71.7%
営業外収益	326	1.3%	371	1.4%	44	13.7%
うち為替差益	4	0.0%	-	-	△4	-
営業外費用	192	0.8%	436	1.6%	243	126.2%
うち支払利息	157	0.6%	212	0.8%	54	34.9%
うち為替差損	-	-	183	0.7%	183	-
経常利益	1,097	4.4%	1,589	6.0%	491	44.8%
税金等調整前四半期純利益	1,097	4.4%	1,589	6.0%	491	44.8%
法人税等	555	2.2%	663	2.5%	107	19.4%
法人税等調整額	△68	△0.3%	△254	△1.0%	△185	△269.2%
非支配株主に帰属する四半期純利益	181	0.7%	167	0.6%	△14	△7.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	429	1.7%	1,013	3.8%	583	135.9%
為替レート(1USD/円)	112.19		106.24			
為替レート(1ユーロ/円)	119.79		130.52			

## <第1四半期 決算概要(前年同四半期比)>

【売上高】 前年同四半期比 18.7 億円(+7.6%)の増収。

【国内】 前年同四半期比 9.4 億円(+8.2%)の増収。自動車関連は好調な輸出に支えられた底堅い国内生産を受け、自動車用エンジン軸受やターボチャージャー用軸受などが伸長し増収。建設機械向け軸受販売は中国・米国などの好調により増収となり、船舶向け軸受販売も増収に転じた。

【海外】 前年同四半期比 9.2 億円(+7.0%)の増収。自動車関連や建設機械関連が堅調に推移して、アジア・北米・欧州(ロシア含む)と海外の所在地別売上高も全て増収となった。

## 【利益】

前年同四半期にあった買収2社に関連する一時的な費用が無くなったことやメキシコの工場の増産に伴うコスト増要因の大幅減などにより、営業利益は 16.5 億円と前年同四半期に比べ 6.9 億円の増益となり、経常利益は 15.8 億円と同 4.9 億円の増益となった。親会社株主に帰属する当期純利益は 10.1 億円と同 5.8 億円の増益となった。

## <連結業績予想、配当予定>

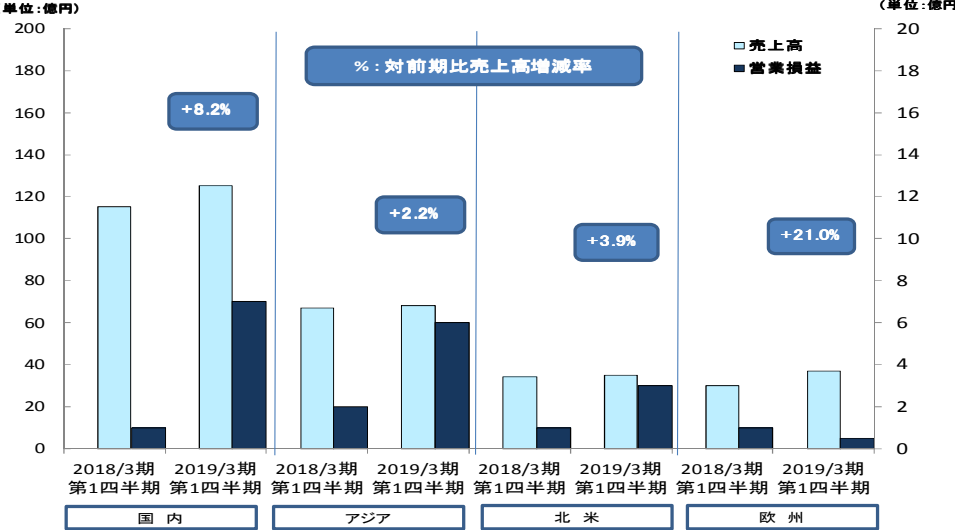
2018年5月11日に公表した業績予想に変更はありません。なお配当予想につきましては、中間15円、期末15円の年間30円を据え置いております。

業績推移	2018/3期(実績)			2019/3期(実績/予想)		
	第1四半期	第2四半期(累計)	通期	第1四半期(実績)	第2四半期(累計/予想)	通期(予想)
売上高	24,811	51,085	106,648	26,686	52,500	107,000
営業利益 (営業利益率)	963 (3.9%)	2,195 (4.3%)	6,511 (6.1%)	1,654 (6.2%)	2,800 (5.3%)	6,700 (6.3%)
経常利益 (経常利益率)	1,097 (4.4%)	2,252 (4.4%)	6,708 (6.3%)	1,589 (6.0%)	2,900 (5.5%)	6,900 (6.4%)
親会社に帰属する当期純利益 (純利益率)	429 (1.7%)	757 (1.5%)	3,281 (3.1%)	1,013 (3.8%)	1,800 (3.4%)	4,700 (4.4%)
為替レート(1USD/円)	112.19	112.00	113.00	106.24		107.00
為替レート(1ユーロ/円)	119.79	127.97	134.94	130.52		125.00

セグメント情報 (事業別)	セグメントの売上高(セグメント間の内部売上高又は振替高を含む)					
	2018/3期		2019/3期		前年同四半期比	
	第1四半期	構成比	第1四半期	構成比	増減額	増減率
自動車用エンジン軸受	15,366	60.5%	16,800	60.6%	1,234	8.0%
自動車用エンジン以外軸受	3,753	14.8%	4,009	14.6%	256	6.8%
非自動車用軸受	2,116	8.3%	2,278	8.3%	160	7.6%
自動車用軸受以外部品	3,520	13.9%	3,818	14.0%	297	8.5%
その他(注)	621	2.5%	678	2.5%	58	9.1%
合計	25,378	100.0%	27,383	100.0%	2,005	7.9%

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電気二重層キャパシタ用電極シート、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

## 所在地別 売上高・営業損益(セグメント間消去前)



主要財務指標	2017/3末	2017/6末	2018/3末	2018/6末	2018/3末比
売上高営業利益率	6.0%	3.9%	6.1%	6.2%	+0.1pt
自己資本当期純利益率(ROE)*	5.9%	3.8%	6.9%	8.3%	+1.4pt
自己資本比率	29.1%	28.9%	30.6%	30.7%	+0.1pt
純有利子負債(有利子負債-現預金)	49,108	50,157	52,129	48,802	△3,326

\* ROEは、親会社株主に帰属する四半期純利益を年換算し算出しております。

設備投資・減価償却	2016/3期 通期	2017/3期 通期	2018/3期 通期	2018/3期 第1四半期	2019/3期 第1四半期	前年同四半期比 増減額
設備投資	14,802	12,329	8,694	2,654	1,240	△1,414
減価償却費	6,259	6,751	8,795	2,040	2,087	47

(注)

- 業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 前連結会計年度において、ATAキャスティングテクノロジー株式会社との企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期連結累計期間に係る連結業績については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初仮見積額の見直しに反映された後の金額によっております。
- 「税効果会計に係る会計基準の一部改正」(企業会計基準第28号平成30年2月16日)等を当第1四半期連結累計期間の期首から適用しており、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度に係る連結業績については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

## <所在地別(前年同四半期比)>

### ◇ 国内

・前年同四半期比の売上高増減率は+8.2%。

#### 【自動車関連】

好調な輸出に支えられた底堅い国内生産を受け、自動車用エンジン軸受やターボチャージャー用軸受などが増加した。

#### 【建設機械向け】

建設機械向け軸受販売が輸出を含めて増加した。

#### 【船舶向け】

大型船舶向け低速ディーゼルエンジン用軸受及び中小型船舶など向けの中高速ディーゼルエンジン用軸受が増加した。

#### 【一般産業向け】

再生可能エネルギー向けは堅調なものの、石炭・石油火力発電設備用の特殊軸受などが苦戦した。

・営業損益は、大同メタル佐賀の稼働率向上による原価低減効果や前年同四半期に発生した一時的な費用増が無くなったことなどにより増益となった。

### ◇ 海外(12月決算の会社については1~3月の累計)

【アジア】 前年同四半期比の売上高増減率は+2.2%。

自動車関連では中国やタイなどが堅調であったものの、韓国、インドネシアなどの不調により微増に留まった。営業損益は前年同四半期に発生した一時的な費用増が無くなったことなどにより増益となった。

【北米】 前年同四半期比の売上高増減率は+3.9%。

自動車関連では高水準を維持する米国市場に支えられ、建設機械分野の好調も寄与し増加した。営業損益も前年同四半期のメキシコの工場の増産に伴うコスト増要因が解消し増益となった。

【欧州】 前年同四半期比の売上高増減率は+21.0%。

欧州(ロシアを含む)では、自動車関連を中心に全般的に堅調に推移し、売上高は増加した。営業損益は、ドイツの研究開発及び営業拠点の費用増加や為替影響などにより減益となった。